

学校 番号	23	学校名	更級農業高等学校
----------	----	-----	----------

令和6年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和6年6月25日（火）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 1 学校長あいさつ
- 2 学校評議員委嘱
- 3 出席者自己紹介
- 4 議事
 - (1) 学校の現状について
 - ・教育目標、重点目標、3つの方針について。
 - ・令和6年度入学生生徒募集の概要について。
 - ・令和5年度学校評価および学校関係者評価の結果について。
 - ・令和6年度学校評価計画について。
 - ・第2回学校評議委員会で学校評価依頼について。
 - (2) 学校評価について

昨年度の教育活動の充実・授業の充実感、安全な学校生活についてのアンケート結果を説明。授業の充実感が38%と少ないので勉強を頑張る生徒の自己肯定感を増やしたい。
 - (3) 生活指導部より

高校生活に馴染めず悩んでいる生徒が増えており、「指導」より「支援」が必要と感じる。
 - (4) 進路指導部より

昨年度の進路状況は進学より就職が少し多かった。公務員（千曲市役所、長野県警）に採用されている生徒もいた。また、今年度の指導日程についての説明があった。
 - (5) 生徒会より

今年度のクラブ加入状況は昨年度とあまり変わらず、3年生が引退してクラブとして成立していないところがある。しかし、久しぶりに県大会出場した部もあり頑張っている。

昨年度から地域ボランティアを再開。「更農シトラスリボンプロジェクト」は6年目になり、継続は力なりで続けていきたい。
 - (6) 農業教育について

農業のスペシャリストの道は百十余年の歴史に支えられている。1年次は農業の基本基礎を学び、2年次からコースに分かれて学習を行うなど、学びの仕組みを説明。また、地域に目を向ける学習では、休耕田を利用した「酒米づくり」に挑戦しており、酒造りも教えていただく予定。
 - (7) 質疑応答・意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・学科改編に関連した現在の動きと今後の予定について説明し、それに関するご意見をいただくようにした。
- ・学校に来ていただく機会を増やすために今後の計画を早めに案内した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

(1) 学科改編

本校は学科改編により、来年度入学生から現在の4学科8コース制を3学科6コース制に変更します。学科改編の理由は、基礎的な農業技術や知識を学ぶとともに、現代の社会変化や技術の進展に対応した持続可能な農業および関連産業に関する学びを実践できるようにするためです。また、本校が位置する旧第4地区では子供たちの数が大きく減少していることに対応するためでもあります。

今回の改編に際しては、現在在籍する生徒たちの学びも充実させ、今の本校の学びの良さを将来に残すことに配慮します。

今後の構想や予定に関する質問には、地域連携をこれからも大切にしていきたいと回答しました。「小森茄子」や「オオルリシジミ」の取り組みが主な活動となるでしょう。また、「酒米づくり」にも力を入れていきたいと考えています。新型コロナウイルスも収束し、生徒が地域に出る機会が増えたので、ぜひ声がけをお願いしたいと思います。

さらに、長野市南部勤労青少年ホームも再編するため、ぜひ交流をお願いしたいと評議員から依頼がありました。農業高校ならではの地域連携に期待しているとのことでした。

(2) 学習活動

昨年度の研究発表会が興味深く、研究が引き継がれていることが非常に良いと感じました。ぜひ今年度も参加させていただきたいという声がありました。また、楽しく農業の話をしていることが嬉しく、感謝しているという意見もあり、本校の農業の学びに対する理解が深まっています。

稲荷山養護学校との交流については、花や果樹、野菜などを一緒に植える活動や、更農祭での交流が話題になりました。養護学校の分教室が併設されたのは本校が初めてであり、この取り組みにより農業高校は他校との交流がしやすくなっています。他の農業高校でも養護学校の分教室が増えているとの説明がありました。

(3) その他

1年生のソーシャルスキルトレーニングについて説明があり、そのことが話題になりました。今年初めての取り組みで、1年生のカルチペイトデイズの一環として実施され、人間関係の構築について学びました。ここ数年、人間関係の構築を苦手とする生徒や、敏感な生徒が周りの雰囲気に対して困難さやストレスを感じるが増えています。このトレーニングは、そういった生徒への対応の一環です。

また、今年度から支援係を増やし、校外アドバイザーにも協力をいただいています。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

(1) 成果

本校の教育活動に対してご理解いただいている様子がうかがえました。それは地域からの期待が大きいと捉えることもできます。評議員の皆様から一定の評価をいただき、今後の励みとしたいと思います。

(2) 課題

地域の期待に応えるべく、来年度の学科改編を踏まえ、本校の学びをブラッシュアップする必要があります。また、多様化が進む社会において、人間関係の構築を苦手とする生徒が増えています。現在行っている地域連携や学科改編で掲げている「農業を学び」「農業で学び」「農業に学ぶ」の3つを、より一層推進していく必要があります。